

こども・若者の意見聴取及び 関係団体等・事業所調査の実施について

1 実施方針

1 調査の目的

第3期深谷市子ども・子育て支援事業計画策定にあたり、こども・若者本人や関係団体・事業所等を対象に現状や意見などを聴取するとともに、深谷市のこども・若者を取り巻く課題を整理し本計画策定の基礎資料とすることを目的としています。

2 調査の構成

子ども・若者計画の基礎資料となる「こども・若者意識調査」及び「若者による意見交換会」を実施するとともに、こども本人やその保護者へのアンケートだけでは把握しきれないこども・子育ての実態や課題等を把握するため関係団体等へのアンケート調査を実施します。

調査の種類	対象	調査の目的	調査方法
こども・若者意識調査	市内在住の 15～39 歳 のかた 2,000 人 ※住民基本台帳から 無作為抽出	子ども・若者計画を含む計画として策定するにあたり、対象年齢となる 40 歳未満の市民の現状や課題、結婚・出産に関する意識等を把握し、必要な施策検討の参考とする。 【調査項目】 ・仕事の現状、満足度 ・悩みとその相談先 ・結婚に対する意識や考え方 ・理想とすることどもの数 等	対象者に QR コード付きの葉書を郵送。回答は QR コードから WEB を通じて行う。
若者による意見交換会	市内在住又は在学の 若者 10 人程度	市内に在住・在学している学生を対象に若者世代の置かれている現状や意識・意向等を直接聴取し、こども・若者支援に必要な施策検討の参考とする。 【調査項目】 ・こども・若者世代が置かれている現状や意識（不安、悩み、価値観） ・結婚や出産、子育てへの意識や希望 ・「こどもまんなか社会」の実現に向けた取り組み	市内大学を通じて参加を依頼する。

関係団体等・事業所調査	<p>【関係団体等調査】</p> <p>児童福祉施設（児童養護施設・ファミリーホーム、自立援助ホーム）、障害児施設（児童発達支援、放課後等デイサービス）、ふかや子どもの居場所づくりネットワーク参加団体（こども食堂等）</p> <p>【事業所調査】</p> <p>教育・保育施設（幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設、小規模保育室等）、学童保育室</p>	<p>こども本人やその保護者へのアンケートだけでは把握しきれないこども・子育ての実態や課題等について把握するとともに、教育・保育事業や子育て支援サービス等の実施状況及び今後の取組予定等を把握し必要な施策検討の参考とする。</p> <p>【調査項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業運営上の課題 ・利用状況、今後の見通し ・こども、子育て家庭が抱えている課題 ・深谷市で推進すべき子育て支援、こども・若者施策 等 	<p>【関係団体等調査】</p> <p>調査票を郵送で配付、回収する。</p> <p>【事業所調査】</p> <p>調査票をメールで配付、回収する。</p>
-------------	--	--	--

2 こども・若者意識調査

1 調査の基本的な考え方

- 全国の傾向と比較できるよう「こども・若者の意識と生活に関する調査」（令和4年度・内閣府）、「人生100年時代における結婚・仕事・収入に関する調査」（令和3年度・内閣府）、「出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」（令和3年度・国立社会保障・人口問題研究所）を参考に、設問を設けます。

2 調査内容

こども・若者の現状や課題を把握するとともにこども・若者への支援策を検討するための資料とするため、7つの分類で設問を設けます。

主な設問内容	設問趣旨	問番号	引用元
①性別、年齢、家族の状況、就労の状況	・現在の就労状況や、仕事に対する満足度や就労していない理由を把握し、必要な支援策を検討する。	問1～6	こども・若者 独自
②暮らし向き、自己認識、孤独感、居場所について	自己肯定感や自己有用感、孤独感や居場所の状況等を把握し、それぞれの関連性を分析する。	問7～12	こども・若者 独自

③悩み・心配事、相談先	・現在の悩みや心配事、相談相手の有無や相談先について把握し、気軽に相談できる地域づくりに向けた施策を検討する。	問13～16-1	こども・若者 独自
④外出状況	・外出の状況を確認し、社会的自立に至っていない状態にあるこども・若者の状況を把握するとともに、必要な支援策を検討する。	問17～17-2	こども・若者
⑤結婚観	・結婚願望や結婚したいと思わない理由を把握するとともに、結婚したいと思う人を支援するために必要な取組みの分析に活用する。	問18～19	結婚・仕事・収入
⑥こどもを持つことに対する希望	・こどもを持ちたい人が理想とするこどもの数と実際に持つ予定のこどもの数のギャップ及びその理由を分析し、出産を望む人に対する支援策を検討する。	問20～22	結婚と出産
⑦意見表明について	・こどもの意見表明権に関し、認知度や現在の状況等を把握するとともに、意見表明を推進するための施策を検討する。	問23～25	独自

【引用元】

こども・若者・・・「こども・若者の意識と生活に関する調査」

結婚・仕事・収入・・・「人生100年時代における結婚・仕事・収入に関する調査」

結婚と出産・・・「出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」

独自・・・独自設問

3 調査期間

令和6年6月19日(水)～7月9日(火)

3 若者による意見交換会

1 調査の基本的な考え方

- 子ども・若者計画を含む計画として策定するにあたり、若者の意見を直接市のこども施策に反映させる機会として、対面による意見交換会を実施します。
- 参加者を市内在住・在学の大学生とするとともに、大学内で意見交換会を実施するなど参加者が話しやすい環境を確保し、若者の率直な意見を聞くことができるよう配慮して実施します。

2 実施方法

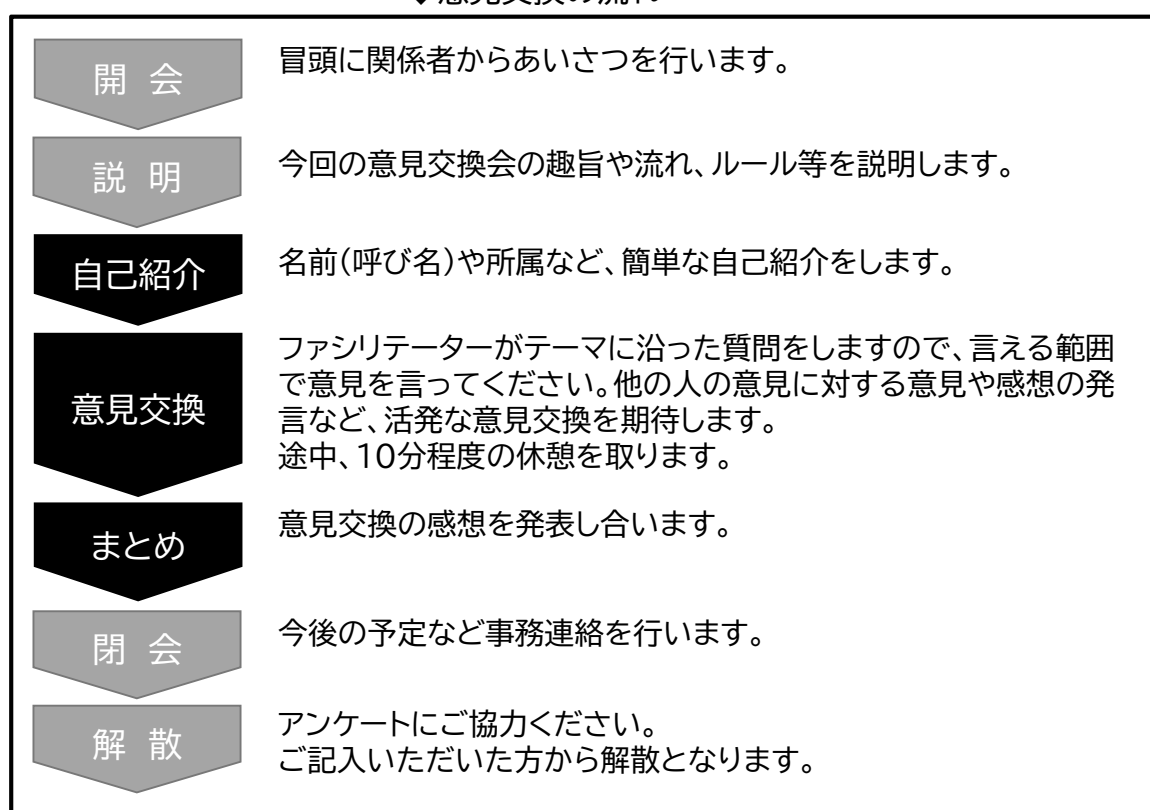
(1)テーマ

- ①あなたは、どのようなこどもでしたか？
- ②あなた(もしくはあなたの周りの人)は、どのような悩みを抱えていたり、不安を感じていますか。
(いましたか。)また、どのような価値観を大切にしていますか。
- ③あなたは、結婚したり、こどもを産み育てたいと思いますか。そのことへの理解や実現を阻むことはありますか。
- ④「こどもまんなか社会」を実現させるためには、誰が、どのような取組を進めていく必要があると思いますか。

(2)意見交換会の流れ

ファシリテーターから学生に対しテーマに沿って質問し、自由な意見を聴取します。開会から閉会まで2時間程度で実施します。

◆意見交換の流れ



(3)聴取した意見の取扱い

- 聴取した意見は深谷市子ども・子育て会議において報告し計画策定の参考とするとともに、計画書に掲載することを検討します。
- 意見を資料等で使用する場合には匿名で掲載します。

3 実施時期

令和6年6月下旬～7月上旬のいずれか1日

4 関係団体等・事業所調査

1 調査の基本的な考え方

- 関係団体等・事業所調査は、こどもや保護者を対象としたアンケートで把握しきれないこども・子育ての実態や事業運営の課題等を抽出し、地域における実情を具体的に把握できるよう記述式の設問を中心に構成します。

2 調査内容

(1)関係団体等調査

主な設問内容	設問趣旨	問番号
①団体等の概要について	・団体等の名称、利用人数、活動対象、活動概要について、確認する	問1
②活動・運営上の課題について	・団体等の活動・運営上の課題について把握し、必要な施策検討の参考とする。	問2～2-1
③こども・若者や子育て家庭の変化について	・近年のこども・若者や子育て家庭の変化やその背景等を確認し、当事者へのアンケートだけでは把握しきれないこども・子育ての実態や課題等について把握するとともに、必要な支援策を検討する。	問3～3-2
④機関・団体等との連携について	・行政機関や他団体等との連携の状況や今後の意向を把握し、今後の支援策を検討する。	問4～4-2
⑤市で力を入れるべき取り組み、団体で力を入れたい取り組みについて	・市で力を入れるべき取り組みや団体で力を入れたい取り組みの意向を把握し、市として重点的に取り組むべき施策検討に活用する。	問5～7

(2)事業所調査

主な設問内容	設問趣旨	問番号
①事業所の概要について	・事業所の名称、事業形態、定員等を確認する。	問1～2
②運営上の課題について	・事業所の運営上の課題について把握し、必要な施策検討の参考とする。	問3
③保育士・幼稚園教諭、放課後児童支援員等の確保について	・事業所の職員等の状況を確認するとともに、職員等を確保するための支援策を検討するための参考とする。	問4～7

④今後の事業展開について	・今後の定員の見込みやこども誰でも通園制度に対する意向を確認し、教育・保育の量の見込みや確保の方策を検討するための参考とする。	問8～10-1
⑤これからのこども・子育て支援について	・市で力を入れるべき取組みに対する意向を把握し、市として重点的に取り組むべき施策検討に活用する。	問11

3 実施時期

令和6年6月19日(水)～7月3日(水)